

質問番号	ページ番号	事業名	質問内容	担当課
1	103	保育所における食育の推進	【食育・味覚形成について】 幼児期は味覚形成の重要な時期でもあり、この時期の食習慣は将来の生活習慣病予防にもつながります。以前、市へ「公立園の給食の塩分・油分が多いのでは」と質問した際に、「管理栄養士が基準に基づき献立を作成しているが、薄味にすると子どもの食べ残しが増える。家庭でも調整してもらうことを前提にしている。」との回答でした。 「楽しく食べる食育」と「生活習慣病予防につながる味覚を育てる食育」の両立について、市としてどのように考えているのか、また学識経験者の先生方のご意見を伺えたら幸いです。 幼児期は、「生涯にわたる健康習慣の基礎」を形成する重要な時期だと思います。睡眠・食育・口腔衛生は相互に関連する、将来の健康づくりへの取り組みであり、今後も子どもの健やかな成長を促すような施策をお願いいたします。	保育課
2	138	生活習慣病予防・歯の健康に関する知識の普及	【保育園での歯磨き習慣について】 歯科保健指導は実施されている一方、保育園ではコロナ禍を機に中止となった昼食後の歯磨き習慣が、現在も再開されていないところがあります。 幼児期は生活習慣を身につける重要な時期であり、年長頃は第一大臼歯（6歳臼歯）が萌出し、う蝕のリスクが高まる時期でもあります。感染症対策との両立もあるとは思いますが、「保育園での歯磨き習慣」について、市としての考え方や今後の方向性、また学識経験者の先生方のご意見を伺えれば幸いです。	保育課 健康課
3	139	健康に関する教育の実施	【幼児期の睡眠について】 幼児期の十分な睡眠は、心身の健康だけでなく、情緒の安定や発達、学習の基盤となることが知られています。 娘が通っている平塚市立港こども園では、年中から午睡を終了し、夏季（7月末～8月末）のみ実施、その期間以外は通常の遊びをして過ごすことになっています。 我が家では、年中進級後、夕方疲れきっている日が続いたため、園に相談し、布団を持参して年少クラスの部屋で午睡をしています。 一方「夕飯も食べずに寝てしまう。機嫌が悪くなる。」など同様に困りながらも「園にそこまでお願いするのは気が引ける。」という保護者の声も複数聞いています。 近隣の茅ヶ崎市・藤沢市の公立園では、年長秋から冬頃まで午睡または心身を休ませる時間をとっており、また、転園を視野に入れ平塚市内の近隣の複数の私立園にも問い合わせたところ、年中終了から年長秋頃まで同様の時間をとっているとのことでした。 午睡の必要性の個人差はあると思いますが、保育園に通う子どもたちは、保護者の都合により生活リズムの調整が難しく、十分な夜間睡眠をとれない家庭もあると感じ、「個々の子どもの発達や生活実態」への支援と対応が必要ではないかと思っています。 平塚市では現在の運用をどのような考え方で行っているのか、特に、「幼児期の睡眠と発達の影響・個別対応のあり方」について、市の考えに加え、学識経験者の先生方のご意見も伺いたいと思います。	保育課